

60年のありがとうを、みらいへ

いわき市は、昭和41年10月1日に14市町村の大同合併により誕生し、今年で市制施行60周年を迎えました。

このまちの歩みを支えてきたのは、いつの時代も、いわきで暮らす一人一人の思いと行動です。震災を乗り越えた日々、まちの「日常」を支えてきた人の姿、子どもたちの成長を見守るまなざし―その全てが、いわきの60年を形づくってきました。

この節目の年に、私たちは改めて「ありがとう」を伝えたいと思います。まちを支えてきてくれた人へ。未来へ向けて走っている人へ。そして、これからのいわきを担う世代へ。

この特集では、ここ10年のあゆみを振り返りながら、市制施行100周年を見据え、作成を進めてきた未来ビジョンを紹介します。

次世代へ向けて、これまでの歩みを受け継ぎながら、新しい発見や挑戦が生まれ、人とまちの魅力がさらに輝くいわきを目指します。

市制施行60周年のロゴ・キャッチフレーズをお使いください！

市が承認した市民団体や民間企業の自主的な取り組み（イベントや商品等）に、市制施行60周年のロゴなどを使用できます。

要件の例

- ・市内開催で、市民に広く開かれているもの
- ・来年3月31日までに開催・発売されるもの

申込方法 申込フォームで
申込期限 来年3/17(水)



＼キャッチフレーズを考案／



平第二中学校2年

内藤 愛美さん

知らなかったいわきを発見

気づいたときに「はっ」とする喜びを感じてもらおうと「い・わ・き」を頭文字に用いたキャッチフレーズにしました。そのために意識したのが、ひらがなで、誰にでも分かりやすい表現にしようということです。

フレーズを考える中で、家族と「昔のいわき」の話で盛り上がりました。60年前は石炭を採掘していたこと、まちが活気づいていたことなど、きらきらするいわきの話を聞き、わくわくしました。頭文字のしかけに気づいたときに、同じように「わくわく」を感じてもらいたいです。

今回の経験を通して、今まで知らなかったいわきの歴史や魅力に気づくこ

とができました。これからのいわきが、このキャッチフレーズのように、まだ自分の知らない新しい発見ができるような、わくわくするまちであり続けてほしいです。

いつでも
わくわく
まらまら
IWAKI

▲内藤さん考案の市制施行60周年キャッチフレーズ

市制施行50周年から60周年までのあゆみ

- | | | |
|--------|-----|---|
| 平成 28年 | 10月 | JRいわき駅の発車メロディーを映画「フラガール」のメインテーマ曲に変更
原動機付自転車オリジナルナンバープレートの交付を開始 |
| 平成 29年 | 2月 | 国道6号「久之浜バイパス」が開通 |
| | 3月 | 「いわき市以和貴まちづくり基本条例」を制定 |
| | 4月 | 21世紀の森公園 屋内多目的広場「いわきグリーンベース」供用開始 |
| | 7月 | いわきネウボラを開始 …1 |
| 平成 30年 | 4月 | 豊間中学校新校舎落成記念式典 |
| | 6月 | イオンモールいわき小名浜グランドオープン …2 |
| | 12月 | いわき市医療センター開院 |
| 令和 元年 | 9月 | サモア独立国ラグビー代表チーム事前キャンプで市民と交流 …3 |
| | 10月 | 令和元年東日本台風が発生 |
| | 12月 | いわきFCの日本フットボールリーグ昇格が正式決定 |
| 令和 2年 | 1月 | 磐城高等学校が第92回選抜高校野球大会に21世紀枠で46年ぶりに出場決定（本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止） …4 |
| | 2月 | 「いわき市魚食の推進に関する条例」を制定 |
| | 4月 | 政府が「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」の対象区域を全国に拡大 |
| | 5月 | 「いわき震災伝承みらい館」開館 |
| 令和 3年 | 2月 | 「いわき市まちづくりの基本方針」を策定 |
| | 3月 | 東京2020オリンピック聖火リレーが本市で実施 …5
いわき市医療センターがグランドオープン |
| 令和 4年 | 4月 | いわき湯本高等学校が開校 |
| | 10月 | いわき大物産展を3年ぶりにリアル開催 |
| | 12月 | いわきFCがJ3優勝&J2昇格達成に伴い、いわき駅前でパレードを開催 …6 |
| 令和 5年 | 1月 | いわきツーリズム推進特命部長に武田玲奈さん、いわき観光コンシェルジュに箭内夢菜さんを任命
小川支所新庁舎供用開始 |
| | 2月 | いわきサンシャインマラソンが5年ぶりに開催 …7 |
| | 9月 | 令和5年台風第13号が発生 |
| 令和 6年 | 1月 | 能登半島地震の被災地である石川県へ第一次応急給水隊を派遣 …8 |
| | 12月 | 内郷消防署新庁舎供用開始 |
| 令和 7年 | 1月 | いわき・ら・ら・ミュウが道の駅に登録 |
| | 3月 | 川前支所移転供用開始 |
| | 8月 | 小名浜道路が開通 …9 |
| 令和 8年 | 1月 | 遠野支所および常磐消防署遠野分遣所新庁舎供用開始 |
| | 4月 | いわき商業情報高等学校が開校
磐城平城しろあと公園がオープン …10 |
| | 8月 | 東日本国際大学附属昌平高等学校が第108回全国高校野球選手権大会に初出場 |
| | 9月 | 中学生に特化した全国初の自転車競技クラブ「いわき平ケイリンクラブ」が始動 |
| | 10月 | いわき市市制施行60周年 |

未来ビジョン

わたしの「こえ」が、まちになる

わたしの「こえ」が、まちになる。
それは、わたしたちの小さな決意です。
わたしたちは、「こえ」をつなぎ、
今にいどみ、くらしを守ります。
声にならない「こえ」を
見逃さないように目を凝らし、
耳を傾け続けます。

わたしたちの「こえ」がつながり、
その「こえ」がだれかの挑戦を支え、
それぞれの「こえ」が守られ、
響き合っていくことができれば、
その先に、だれもが住んでよかった、
住み続けたいと思える、
そんなふるさとが続いていくと思うから。

わたしの「こえ」が、まちになる。
それが、わたしたちの未来です。



きく

これからの未来に市も、

市民も、大切にしたいこと

過去の常識や慣習にとらわれることなく、
互いの個性や立場を尊重し合い、
声を受け止め、対話を続ける

つなぐ

そのまちらしさ、歴史や文化、
地域への愛着を次の時代へつなぐ

いどむ

どんな小さなチャレンジにも
声をかけ合うことで、
今に、そして未来にいどむ

まもる

支え合い、助け合い、
命とくらしをまもる

市制施行100周年を見据えて

市制施行60周年となる今年、今後のまちづくりの柱となる「未来ビジョン」が完成しました。このビジョンを市民の皆さんが見上げる「旗」に見立て、皆さんの声で編んでいくという願いを込めた「#こえあみプロジェクト」を昨年10月に開始しました。

プロジェクトを主導したのは、いわきに強く思いを寄せる若者を中心に構成されたメンバー9名。彼らを中心に、住民アンケートや地区別ワークショップ、50もの団体などへのインタビューを重ね、一人一人の声を集め、紡ぎ合わせてきました。

年齢や職業が異なる方々の声は一見するとバラバラ。しかし、声が重なるにつれ「合併後も自分の地域への愛着を持つ人が多いこと」が明らかに。本市が多様な歴史や文化により成り立っていることを改めて感じました。

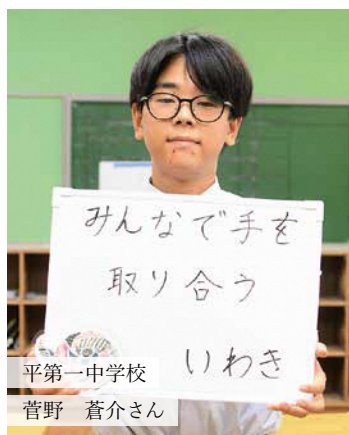
14もの市町村が一つとなった本市は、60年経った今なお地域ごとの特色が色濃く残るまちです。個々の地域が持つ背景、そしてその地域に住む人から生まれた声を紡いで編み上げた「未来ビジョン」のもと、100年目を見据えたまちづくりを進めていきます。



平第一中学校
山田 承太郎さん



小さな拠点おおか
藤館 友紀さん



平第一中学校
菅野 蒼介さん



NPO 法人ままはーと
笠間 真紀さん

「100年目のいわき」に向けた市民の皆さんの期待



いわきネギ生産者
長久保 貢一さん



赤井中学校
吉田 美空さん



NPO 法人はなのころ
西山 将弘さん



赤井中学校
平田 奏さん

市制施行60周年を迎えて

いわき市は、今年、市制施行60周年という大きな節目を迎えました。これまでの60年は、先人たちの挑戦と、市民一人一人の力によって、いわきのまちが築かれてきた60年です。

そして今、私たちは市制施行100周年を見据えています。昨年10月に「#こえあみプロジェクト」をスタートさせ、『未来ビジョン』をまとめるため、あらゆる世代の

皆さんと、100周年のいわきがどんなまちになってほしいかを語り合ってきました。

大切なのは、声を聴くだけで終わらせないこと。その思いを受け止め、政策やまちづくりにつなげていくことです。今回策定された未来ビジョンと向き合い、60周年を、市民の皆さんと新たな一歩を踏み出す節目にしたいです。

まちづくりの主役は「わたし」

「何もしなければ、何もなくなってしまう」。これは、ワークショップに参加された住民の方の声です。この言葉に強い衝撃を受けると同時に「何かをすれば、変えていける」という気持ちが芽生えました。

プロジェクトに参加して驚いたのは「いわきを良くしたい」と思う方が想像以上に多いこと。しかし、地域のために声を発したり、その声を聞いたりする場合は、これま

で多くありませんでした。

未来ビジョンの主題は「わたし」です。ビジョンと聞くと壮大なものに感じますが、一人一人がいわきの将来を自分ごととして考えることがまちづくりには欠かせないと思っています。

関わり方は人それぞれです。私は映像の仕事を通して、これからもいわきのまちづくりに関わっていきます。



#こえあみプロジェクト 検討メンバー 野村 直矢さん

いわき市長 内田 広之